

**令和6年度(下半期)**  
**経営発達支援計画に基づく短期目標に係る総合評価**

**1. 地域経済活動向調査**

**評価対象事業**

- ・管内の小規模事業者の景況調査経済動向資料の分析・作成
- ・公的機関が発行する資料の整理・分析、調査事項に対する分析・公表

**実施状況**

- ・管内の小規模事業者 80 者を対象に、景気動向調査を 12 月と 3 月に行い公表した。
- ・併せて公的機関発行の景況に関する資料を収集し、公表資料に盛り込んだ。

**評価・コメント**

「行政でも町内の経済動向を知る材料にしている」とのコメントがあった一方で、「各業種の偏りを考慮した全体評価の工夫を」との意見もいただいた。また調査対象事業者の選出について「業種別のバランスとともに、業種内のバランス（業種別調査の「商業」について小売・飲食・サービス業の比率）」にも注意してほしいとの意見があった。

**対策**

次期計画でも継続する調査では 80 者の業種別の比率を町内の業種比率に応じて配分する。また全体の評価の記載内容も検討し、より分かりやすい調査報告書となるよう工夫する。

**2. 経営状況の分析**

**評価対象事業**

- ・ローカルベンチマークを活用した経営分析の実施

**実施状況**

・上期の経営分析セミナーでは「ローカルベンチマーク」の活用について学んでいた。下期は引き続き、本気の事業者に「ローカルベンチマーク」を使った経営分析を行い、財務分析は 30 者提出を達成できたものの、非財務分析は 1 者を除く全員から提出いただいた。しかし、ローカルベンチマークを活用して今後の方針を示すことができた事業者は、提出内容から判断して半数の 15 者に留まった。

**評価・コメント**

本気の事業者に関して 30 者のうち 10 者が新たに参加したことは「評価できる」とのコメントをいただいた。今後の課題としてローカルベンチマークによる分析方法の習得を推進してほしいとの意見や、本気の事業者の卒業者のフォローアップを求める意見があった。

**対策**

これまでの参加者の意見等から「ローカルベンチマークは難しく、ボリュームが多い」との意見が多かったことから、次期計画ではビジュアルでも理解しやすく用紙 1 枚にま

とめられる経営デザインシートを用いて分析を行う。事業者が分析結果を腹落ちさせ、行動に移せるように工夫をして取り組む。

### **3. 事業計画策定**

#### **評価対象事業**

- ・ 創業塾の開催
- ・ 事業承継に関する個別相談会の開催

#### **実施状況**

・ 上期に実施した事業計画策定セミナーを踏まえて、当会独自のビジョンシート作成を支援した。本気の事業者のうち 1 者を除く全員から提出いただいたが、ビジョンを明確にできた事業者は内容から判断して 19 者にとどまり、回収後のフォローが不十分な結果となった。

・ 多可町と連携して「多可町創業塾」を 4 回(10/2, 8, 23, 30)にわたり開催し、11 人が受講した。受講した 12 者のうち 4 者が創業塾終了時に創業計画書を提出しており、事業計画策定に向けてカリキュラムを組んだ成果が出た結果が表れた。

・ 事業承継の支援として 2 回の個別相談(10/9, 12/9)を開催し、合計 6 者の相談があった。このうち 1 者が令和 6 年末に事業承継を行ったほか、個別相談後のフォローアップにより 2 回目の個別相談を行ったり、補助金の申請支援につながったりした。

#### **評価・コメント**

創業塾に関して評価するコメントが多くあったが、一方で創業希望者の中には「年に 1 回のみ開催の創業塾はスケジュール的に受講が難しく、ハードルが高いと思っている人が多い」との意見もあった。「創業塾から本気の事業者への流れを推進してほしい」との要望もあった。

#### **対策**

本気の事業者の計画策定に関しては、前項目の経営分析と同様にフォローアップの強化を図り、意義のある計画策定ができるよう支援を行う。

### **4. 事業計画策定後の実施支援**

#### **評価対象事業**

- ・ 巡回・窓口相談によるフォローアップ
- ・ IT の積極活用によるフォローアップ
- ・ ミニ勉強会の開催

#### **実施状況**

・ 本気の事業者(30 者)、創業者(11 者)に対するフォローアップを行い、年間で延べ 325 回の支援(巡回相談・窓口相談)を実施した。

・ 売上増加事業者は 8 者、利益率 3%以上増加事業者は 4 者に留まった。昨年度に引き

続き物価高騰の影響と考えられるが、3%未満だが利益率が増加した事業者は2者、売上に変化なしと回答した事業者は16者、利益率に変化なしと回答した事業者は18者あり、本取り組みを通じて厳しい環境下でも現状維持できた事業者は多かった。

- ・情報発信に関して商工会の簡易ホームページ作成サービス「グーペ」の利活用の支援、業務改善に関してスマホを使った電子申告の説明会の開催のほか、生産性向上のためのDXセミナー、AI活用セミナーも開催した。

- ・本気の事業者を対象としたミニ勉強会を5回(10/28, 11/25, 12/5, 12/13, 1/20)開催した。

- ・本気の事業者を通じての異業種交流の成果としてスタートした、若者に地域の仕事を肌で感じてもらう多可高校での「JOBトライやる」の概要と現状について説明した。

#### 評価・コメント

AI や DX の活用セミナー開催に関しては「業務の改善に直結する」と評価する意見が多く「職員のスキルも高めてほしい」との意見とともに、今後の継続希望が多くあった。DPI の取り組みから生まれた多可高校の「JOB トライやる」は委員から多くの質問があり、今後の町内での認知拡大への期待の声が大きかった。一方で目標設定や事業実施後のアンケート方法について「改善の余地がある」との意見をいただいた。

#### 対策

多くのコメントや意見をいただいた通り、経営計画、経営分析を含めてフォローアップに注力をして成果が出るように取り組む。ミニ勉強会は異業種交流の場として参加メリットの1つになっているため、参加者が課題意識を有する共通テーマの確認を早期に行い、余裕をもって開催できるように改善を図る。

## 5. 需要動向調査

### 評価対象事業

- ・ヒトを対象にした需要動向調査(高齢者)
- ・モノを対象にした需要動向調査(衣生活・食資源)

### 実施状況

ヒト(高齢者)を対象とした需要動向調査は、多可町生涯大学「多可学園」の受講者を対象に実施し、111サンプルを回収して報告書を30者に伝達した。モノを対象とした需要動向調査のうち衣生活の調査は、多可町ふれあいまつりの播州織作品展来場者を対象に実施し120サンプルを回収して13者に報告書を伝達した。また、多可町の食を対象とした需要動向調査は、95サンプルを回収して23者に報告書の伝達を行った。

### 評価・コメント

調査結果やフィードバックについてよい評価があった一方で、「サンプルをより多く確保できるように」「結果の活用事例を示してほしい」などの意見があった。また、衣生

活の調査に関しては回答者の居住地の設問を設けるべきとの指摘もあった。

## 対策

次期計画では結果のフィードバックまでの時間を短縮して、調査結果の活用に重点を置いて取り組む。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

### 評価対象事業

- ・ 地場産業・地域資源の商品・サービス開発の支援
- ・ 広報支援および IT 活用による支援
- ・ 展示会等出展による販路開拓支援

### 実施状況

- ・ みみよりインフォメーションで多可町の特産品開発支援補助金の情報発信を行い、1件採択された。また LINE でも商品開発等に関する全国連や県主催の事業の情報提供を行った。
- ・ 多可町と連携して多可町の定例記者発表会の場で、下期中に3回（年間計7回）の広報支援を行った。また、合同記者発表会を開催して8者が参加し、メディアから複数回の開催希望があった。
- ・ 2/12～14の日程で開催された東京インターナショナル・ギフトショー2025春に西協商工会議所や北播磨地場産業開発機構と一緒に出展し、8者の出展を支援した。2月末現在で12件103万円の成果を挙げている。
- ・ 1/20～2/20で開催したリアル播州織 EXP02024は、展示会の情報発信の場と位置付けて実施した。昨年が続いて実施したライブコマースアプリを活用したオンライン展示会では、ライブコマースで10件150万円の売上成果があった。
- ・ 1/22～23に開催された FOOD STYLE KANSAI 2025では、7者が出展し、4件40万円の成果を挙げている。昨年度の反省を踏まえ7者中5者が2人体制で出展し、不在時の機会損失を防いだ。

### 評価・コメント

展示会出展や合同記者発表などに関して前向きな評価とともに今後の継続支援に関するコメントが多くあった。その中で出展する展示会の再検討や、食の展示会で実施した2人体制での出展を播州織の展示会にも求める意見がみられた。合同記者発表に関しては参加メディアの増加を希望する声があった。

## 総括

委員からは発達支援計画に基づく一連の精力的な支援に対して、評価するコメントが多くみられ、行政からは今期の結果を踏まえて令和7年度からの第三期計画への更なる期待が寄せられた。また、取組内容を良い方向に向けるために、目標設定と成果の追及方法について改善が必要とのアドバイスもいただいた。

●評価委員による項目別チャート

